

1. ブラウザ Edge と Chrome には、ID とパスワードを保存する以外に、パスワード漏洩監視機能があります。

パスワード漏洩を監視する仕組みは、Edge も Chrome も、同じです。悪者達の間で出回っている漏洩パスワードリストを、良い者が同じリストを入手してブラックリストデータ化します。

Microsoft も Google も、Edge や Chrome に保存されているユーザーのパスワードを随時 そのブラックリストと付き合せます。ブラックリストと該当パスワードとが一致した場合、ユーザーに知らせてくれ、パスワード変更を促すというものです。



2. どのように『警告』してくれるの??

▶ **Edge の場合** 以下のような警告表示がです





Edge の『設定』画面を開き『プロフィール』⇒『パスワード』と開いた下記の画面でも、パスワード漏洩状態を随時確認できます。

プロフィール / パスワード

パスワードの保存を提案

サインイン
これをオフにすると、Web サイトにサインインするには許可を求めるメッセージが毎回表示されます

パスワードフィールドに [パスワードを表示する] ボタンを表示する
このボタンを選択すると、入力した内容が表示されます。一部のサイトでは、この設定が上書きされている場合があります

オンライン リークでパスワードが見つかったときにアラートを表示する
Edge に保存されているパスワードは、公開されている資格情報の既知のリポジトリと照らし合わせて確認され、一致するものが見つかった場合は、警告が表示されま
す。[詳細情報](#)

ここに漏洩報告が出る

新たに漏洩したパスワードは見つかりませんでした

- ・下の画面には、漏洩した対象パスワードのリストが表示されます。
- ・『今すぐスキャン』をクリックすると、Edge に保存される自分のパスワードの中に漏洩リストと一致するものがないかスキャンチェックが行われ、結果が表示されます。(スキャンには数分かかります)

パスワード / 漏洩したパスワードの修正

パスワード漏洩は重大な問題を引き起こす可能性があります。これを防ぐために、私たちがお手伝いいたします

Microsoft Edge で、以下に示すユーザー名とパスワードが悪意のある攻撃者によって Web 上に公開されていることが検出されました。アカウントの安全を維持するために、これらのサイトのパスワードを変更してください。[詳細情報](#)

この機能のしくみ:
Microsoft Edge にパスワードを保存しました。 Microsoft Edge は、漏洩したパスワードを Web 上で監視します。 漏洩したパスワードがあった場合は警告します。 に、以下のパスワードを変更してください。

漏洩したパスワード 前回のスキャンは 1 時間未満前

今すぐスキャン

漏洩していないかスキャン実行

新たに漏洩したパスワードは見つかりませんでした



▶ **Chrome の場合** 以下のような警告表示がでます

『パスワードを変更してください。
 サイトまたはアプリでのデータ侵害により、パスワード情報が漏洩しました。
 XXX（サイト URL）のパスワードをすぐに変更することをおすすめします。』



※この警告ポップアップが出た時にログインしようとしたサイトそのものが情報漏洩を起こしたわけではありせん。

該当サイトで利用している「**ID とパスワード**」の**組み合わせ**が、何らかの経路で世の中に流出してしまっている、**使い続けられない方が良く、パスワードを変更するべき、**ということをブラウザ Google Chrome が警告してきたのです。

もしもパスワード情報漏洩の警告ポップアップが表示されたら

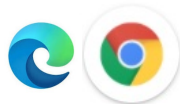
- ・該当する ID とパスワードの利用を今後止める
- ・該当する ID とパスワードで登録しているサイトのパスワードを変更する。

次の場所でも、パスワードの漏洩状態を随時確認することができます。

- パソコンでは・・・ Chrome の設定画面を開き、『自動入力』⇒『パスワード』と選択して、下記画面を開きます。

この画面にて、『パスワードの確認 ▶』をクリックすると 現在の状態が解ります。





- Android スマホ、タブレットでは… Chrome の『…』から、『設定』を選択し、『パスワード』と進めると、下の画面になります。

この画面にて『パスワードを確認』を選択すると、現在の状態が解ります。

